



Share Rotary—
Serve People

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 齋藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 74 名 出席 54 名 出席率 72.97% 前回出席率 70.29% 修正出席 67 名 確定出席率 90.54%

会 長 報 告

内 山 喜 一 君

10月は米山月間でした。今日はその最終例会でございます。後程石黒パストガバナーより、米山月間にちなみ、米山奨学会についてのスピーチをお願いする事になっております。尚来月はロータリー財団月間であります。すでに、ご案内申し上げましたが、福島での地区年次大会に於いて当クラブは財団寄付最優秀クラブとして第1位に表彰されたのでございます。寄付の奉仕もさる事ながら、人材育成と云う意義も見落とす事の出来ないものだと思います。よって奨学生の派遣、これは青少年の国際理解と親善、それから平和への使節としての使命を帯びての事ですが、この面に於いても力を注ぎたいと思います。ガバナー月信の9月19日の第4号に、財団奨学生募集要項が掲載されております。それによりますと、1983年～84年の奨学生は決定のよう

ありますが、次年度1984年3月1日迄に申請し、4月14日選考とあります。若し皆様の身近に該当する青少年諸君がおられましたら、是非推薦を頂きたいと思っております。大変簡単ですが以上で終わります。

幹 事 報 告

齋 藤 隆 君

1. 会報到着
鶴岡西ロータリークラブ
台中港区ロータリークラブ
2. ザ・セーフティジャパン新聞の10月号到着
3. 台中港区ロータリークラブより
「扶輪」月刊誌到着
4. 第3回クラブ協議会開催のお知らせ
11月8日(火) 午後4時～ クラブ協議会
午後5時30分～ 懇親会
場所 中国飯店 会費 2,000円
多数のご参加をお願いします。

財団法人 ロータリー米山記念奨学会について

石 黒 慶 之 助 君

皆様ご承知のように、米山奨学会の制度は国際ロータリーに関係なく、日本のロータリー独自の育英資金制度であり、世界に誇るべき立派な成果をあげております。しかもその規模の大きいこと、継続性のあること、年々発展を続けていることなどは、世界のロータリアンより驚嘆されております。R.I.では日本が米山奨学会に力を入れているので、ロータリー財団への寄付の低下につながらぬかと心配の声があったそうですが、財団も世界一の成績をあげておるので、それは杞憂に過ぎないと判ったそうです。

米山奨学会への協力は年々増加し、昨年度は普通寄付金2億2千万円位、特別寄付4億7千万円、合計6億9千万円位集まっております。奨学生の数も317名に増加し、過去の累計1,903人、通算3,624

名の海外留学生へ奨学金を支援しております。国内の育英会としては、民間のものとして最大の規模であります。

米山氏が東京R.C.設立以来、私費を投じて東南アジアから日本に留学している困窮生活の学生を支援してきた美しい善意を、先生が亡くなられてから東京R.C.がこれを継承しようとして、昭和28年に260万円を募金して米山ファンドを作ったのが始まりであります。

これが、昭和42年7月1日より国内全ロータリークラブのご協力により基金3,000万円を準備し、ロータリー米山記念奨学会を設立し、東京クラブの事業としてでなく、日本のロータリークラブ全員参加の事業として運営することになりました。

庄内空港の建設を推進しましょう

本来は東南アジアの発展途上国より日本に留学している困窮している私費留学生に学費を支援する目的でありましたが、皆様のご支援で前述のように財政的余裕ができ、最近では中近東諸国、オセアニア諸国、アフリカ大陸からの留学生も多く採用し、更に欧米先進国からの留学生で生活に困っている学生にまで恩恵を与えております。

学費支給の額も、蔡君・エテバリ君の時は大学生には月7万円、大学院学生には月8万円の支給でしたが、昨年は8万円・9万円と増額され、更に今年度からは9万円・10万円と増額され、学会出張旅費の支給とか、更に本部での割当て人員数の他に、地区サイドで選定する奨学生1名を加えることができるようになりました。合計375名分の予算を計上することができました。これは急テンポの発展であります。

米山では、このように皆様からの支援を全部奨学金に使ってしまわず、剰余金を積み立て“世界理解基金”として、昨年まで3億円のところ今年は10億円に増額する予定であり、最終目標50億円とし、その利子で奨学金を賄うよう計画しております。

ここでももしろいことは、米山奨学生の半数以上が台湾出身者であることです。台湾は現在わが国と正式の国交がなく、政府よりの支援ができないため文部省からも感謝されております。

また、ロータリークラブのない国からの留学生には恩典が与えられません。

わが鶴岡R.C.は、米山奨学会に対する貢献度がまことに大きいクラブであります。

過去の累積3,665,230円で、地区内第3位(①いわき平3,876,909円 ②会津若松西3,837,393円)であります。普通寄付額は1人年2,000円ですが、特別寄付が多かったからであります。本クラブの米山功労者は6名ですが、張紹淵先生ご一家で5名の功労者を出しておられます。

また、これによって地区内米山功労クラブの第1号の表彰を昭和54年2月に受けております。(地区内では功労クラブは現在9R.C.、功労者は42名おり、うち私の年度で19名出ております)これと共に、過去における米山奨学生5名のカウンセラークラブであったことも、地区内で最も多くの学生をお世話し

たクラブであります。

ここで、出来れば普通寄付を2,000円から3,000円として頂ければ有難いのですが、理事会で予算を検討して頂きたいとお願いいたします。特別寄付には所得税の寄付控除もありますので、海外留学生への育成の重要性を認識され、よろしくご協力を願います。

米山梅吉さんはどんな方でしたでしょうか？

日本に始めてロータリークラブを作り、東京R.C.の初代会長になられた方であり、米山奨学会の創始者であることは皆様ご承知のことです。

先づ先生の経歴をたどってみたいと思います。

米山梅吉氏は1868年(慶応四年=明治元年)、江戸・芝・田村町の和田竹蔵氏(大和・高取藩士)の三男として生れ、母は三島神社の娘であります。幼い頃は三島と東京を往き来して育ており、最近三島市郊外に米山記念館が建てられたのも、こんなゆかりがあったからであります。ポール・ハリスもこの年に誕生しておりますが、何か宿縁を感じます。

和田梅吉少年は、幼い頃から静岡県駿東郡長泉村米山藤三郎氏に宿望され、1人娘のはる女と娶せるよう懇望されていた。明治20年になって養嗣子として入籍し、米山梅吉と姓が変わったわけである。その8年後に結婚した。後に賢夫人と言われた方である。

梅吉少年は始め、沼津中学に入学したが、3年で退学し、東京の英語塾に入門し外人より英語を学び、東京府につとめながら勉強したそうです。更に東京英和学校(青山学院の前身)に入学し、ここでキリスト教的な教育を受けた。後に夫人となられる米山はるさんも青山学院を出ておられます。

米山氏は21歳で渡米し、スクールボーイをしながら、オハイオ州ウエスレアン大学に学び、更にニューヨーク市のローチェスター大学に進んだ。

米山梅吉氏は明治30年、友人の推薦で三井銀行に入社し、彼の生涯は三井系の仕事に手腕を発揮するのであるが、入社翌年には欧米の銀行視察のため研修旅行に派遣され、1ヶ年位各国を旅行します。帰国後、三井銀行本店営業部に勤務し、間もなく大阪支店、天津支店、深川支店、横浜支店などに次長とか支店長を経験し、明治42年には三井銀行の常務

取締役となる。

その後、幾回となく海外視察や会議に出かけるのであるが、ロータリアンの私共が関心を持たねばならない旅行は、1917年(大正6年)政府の財政経済視察団の団員として渡米し、テキサス州ダラスを訪ね、偶々三井物産ダラス支店長としてダラスR.C.の会員であった福島喜三次氏と会談した。福島喜三次氏は日本人としての最初のロータリアンであります。しかもこの福島さんは、後に東京R.C.の初代幹事であり、大阪R.C.の設立の時の初代幹事となった人です。

余談はさて置き、米山梅吉氏はダラスで福島喜三次と会談している間に、ロータリーの奉仕と親睦に非常に興味を覚え、日本にもロータリークラブを作りたいとの考案が生れたのです。

福島氏が国際ロータリーとも充分協議し、帰国してから米山氏を中心にロータリークラブの設立に準備を始めた。

2人がダラスで会ってから3年目、大正9年10月20日(1920年)念願の東京R.C.が発会しました。米山氏が会長に、福島氏が幹事となり、24名のチャーターメンバーで、日本で初めてロータリークラブが誕生したのであります。

東京クラブは各職種毎に超一流の人物を選んだので、その後も日本では会員増強は量よりも質の風調が強く、エリート意識が高いし、クラブの運用もオーソドックスであり、アクティビティであったため、日本のロータリーは現在まで大発展したように考えられる。(最近、種々な批判が出ているが)

米山梅吉氏の日本のロータリーに残された足跡はまことに偉大であります。昭和21年(1946年)4月28日78歳で逝去されるまで26年間のロータリー人生であります。その貢献度は計り知れません。その2~3をご紹介します。

○1920年10月20日(大正9年) 東京R.C.創立総会会長・米山梅吉(53才)

1921年4月1日付登録番号855を以って承認された。

○1923年9月1日(大正12年)午前11時58分関東大震災-東京、横浜は壊滅し、これに対しR.I.より89,000ドルの義援金を受けました。これによって日本のクラブは活気づき、1923年11月14日の

例会より、定款通り毎週1回例会を開くようになった。

○1924~26年(大正13~15年) 米山氏はR.I. D70スペシャル・コミッショナー(現・地区ガバナー)に就任。当時は東京、大阪、神戸、京都、名古屋の5 R.C.だった。尚、スペシャル・コミッショナーには2代目井坂孝、三代目平生夙三郎までで、その以後は地区ガバナーの名称。

○1928~31年(昭和3~6年) 米山氏はR.I. 理事に就任。当時ガバナーには村田省蔵氏就任。第70地区には内地に東京、大阪、神戸、京都、名古屋、横浜の6 R.C.、外地には大連、奉天、ハルビン、台北、京城と5 R.C.、合計11 R.C.。

○米山氏は英語に堪能であり、現在私共が「超私の奉仕」と言っているService above selfを、“自我に先立つサービス”と名訳されている。

○昭和11年(1936年)にはポールハリスの名著The Rotarian Ageを翻訳され「ロータリーの理想と友愛」を刊行されている。この本は、私の最も愛読した本であり、ロータリーの真髄を理解するに必見の参考書と思います。

○先生の思想は、青山学院校友会会長を受けられてから高木壬太郎院長と協力し、学院内に私財を以って財団法人緑岡小学校を作り、その校長となり春子夫人は構内に幼稚園を作り、少年の教育に力を入れられた。その教育方針は「己れの欲せざることを他に施す勿れ」でありました。幼児達には「ひとからされていやなことは、ひとにしてはいけない」と教えられた。そして米山氏は「他人の楽しむのを見ているほど幸福なことはない」と常日頃述べておられました。

○昭和15年(1940) - 紀元2600年祭-大東亜戦争の前年、米山梅吉氏は軍当局に呼び出され、“ロータリーは日本に対する叛逆”と極言され、クラブの解散の止むなきに至る。

東京クラブでは9月11日に解散式を行い、米山氏は創立以来20年を顧み、まことに感無量な挨拶を行った。最後の閉会のゴングと共に、皇国日本を生かさんとした奉仕活動も僅か21年間を以って自決したのであります。

日本のロータリーは終戦後4年目、1949年(昭

和24年)に再びR.I.へ加盟復活するのであるが、それを待ずに米山梅吉氏は昭和21年4月28日逝去されたのであります。

- 昭和20年には、貴族院議員として病軀をおして登院されたことも、如何に責任感の強い方であったか判ります。

委員会報告

インターアクト委員会

佐々木詰彦 君

国際ロータリー第253地区 インターアクト協議会報告書

- 場 所 福島市飯坂温泉 伊 勢 屋
時 間 P.M.16:00～18:00
議 題
1. インターアクト年次大会の反省
 2. 次年度年次大会の開催地等について
 3. ブロック別交換研修会の実施要領
 4. リーダー講習会の実施要領
 5. 国内研修・海外研修について
 6. その他

ガバナー 田 中 善 六

1. 次年度大会の日程等について

- ホストクラブ 米沢・九里学園 I.A.
期 日 1984年8月7(火)～9(木)
2泊3日
主 会 場 飯豊少年自然の家
(開会行事 米沢女子高)
参 加 人 員 約150名
スポンサークラブ 米沢R.C. 米沢西R.C.

一般ロータリアンの参加については、行事その他への参加を容易にするため、又積極的な参加を図るための案内をすると共に、出欠の確認をとるようにしたらどうか。

- #### 2. ブロック別交換研修会(今年度新規事業)について
- 年次大会は参加人員に制限があるため、クラブ員全員が参加することが出来ないため、第253地区を3ブロックに分け、全員参加の研修会を行う。遠隔地から集まるための時間及び経費の軽減を図ることもできる。

内容等については、本事業実施の賛同を得た上で小委員会で検討、実施をはかる。但し、リーダー講習会を従来通り実施することとの関連も充分考慮しなければならない。

3ブロック=(庄内5校)(山形・米沢・福島5校)
(喜多方・いわき勿来・岩瀬5校)

3. その他の話題として

- ある学校ではインターアクトクラブ員は、就職の際非常に有利であった。特に希望就職先の経営者がロータリアンの場合、就職は極めて確実である。
- クラブ顧問教師が数年以上にわたって担当する場合は問題ないが、新しく顧問になった場合、ロータリークラブそのものがよくわからない。したがってインターアクトの活動への理解も出来ないことになる。
- インターアクトクラブの活動については、校長・教頭の理解が不可欠要素である。顧問教師だけの理解だけでなく、動きやすい環境をホストR.C.は作らなければならない。

- 次回会員スピーチ 三井徹君
テーマ「ニューブランズウィック市を訪問して」
- 第3回クラブ協議会開催のご案内
日 時 11月8日(火)
場 所 中国飯店
P.M.4時 クラブ協議会
P.M.5時30分 懇親会
- 例会変更のお知らせ
日 時 11月15日(火) P.M.5:30
(秋の味覚を楽しむ会)

スマイル

- 石川寿男君 10月21日の親睦磯釣大会で優勝して。
庄司嘉男君 10月21日の親睦磯釣大会で準優勝。

ビジター

- 鶴岡西R.C. 瀬尾助三郎君・加藤有倫君
井上 彬君・三浦正志君
温海R.C. 阿部一太君 佐藤五右エ門君
本間儀左エ門君
(今週の担当者 秋野 忠)